

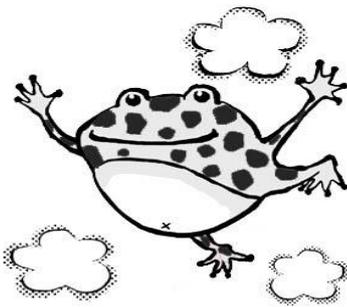
かえる便り 30年度31号

平成31年3月18日

早春の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

3月は分かれの季節であり、新たなステージに進む時期でもあります。今年度を振り返ってみて下さい。次の段階に進むための努力を真剣にしてきましたか？自分が成長するために、どのような工夫や取り組みをしてきたかが明確に見えますか？

私たちは情報の多くを視覚から得ています。視野の広さと見方により人生は変わると思いますよ。しかし、人は自己中心的な考えや見方になりやすく、心の目を曇らせることがあると思います。鏡の前に立てば自分の姿は見えますが、心はどうでしょうか？自分の言動により周りの人の態度が変わることがあります。また、人の言葉や行動で自分の心に変化が生じることがありますね。周囲の人が自分の心を反映していると考えられませんか？良い影響を与えると同時に、人に注意されたら素直に聞く心耳を持ちたいものですね。



春は分かれの季節であると同時に、新たな出会いの時でもあります。自分の可能性を広げるためにも、人の縁を大切にしたいものです。

『人は出逢うべき人には必ず逢える。一瞬遅からず一瞬早からず』（森信三） 人生を左右するような出会いをしたことはありませんか？この言葉を知った時、ある出会いを思い出しました…。

サッカーも生き方も同じです。視野の広さでプレーの質が変わります。仲間に良い影響を与え自ら楽しむために、良い判断ができる視野の広さを確保できるよう努力をして欲しいものです。また、瞬時に判断し的確なプレーをするためには、技術を高めると同時に基本的な考え方・戦術を整理することが必要です。

いろいろな角度から物事を見ることで、悩みや問題を解決することができると思います。そのためにも見聞を広げる努力をし、心を開き素直に聞く姿勢を持って欲しいものです。目と耳は二つ、口は一つです。二つある目と耳で多くの情報を得て、頭で判断・整理して、心ある言葉で正しく伝えられることが自他の幸せと成功につながると思います。心したいものです。